

一般社団法人 岩の力学連合会
平成 27 年度・第 2 回理事会 議事録

日時	平成 27 年 10 月 22 日 13:00~17:20	場所	資源・素材学会会議室
----	-------------------------------	----	------------

理事会	理事長	京谷 孝史	○	理事	下茂 道人	×	理事	岸田 潔	○
	副理事長	青木 智幸	○	理事	新 孝一	×	理事	西村 強	○
	幹事長	長田 昌彦	○	理事	清木 隆文	○	理事	坂口 清敏	×
	理事	鈴木健一郎	○	理事	村田 澄彦	○	理事	森本 知久	○
	理事	岡田 哲実	×	理事	島田 英樹	×	理事	横尾 敦	×
	理事	安原 英明	○	理事	児玉 淳一	×	理事	鈴木 明	○
	監事	嶋田 善多	○	監事	細野 高康	○	オブザーバー	清水 則一	○
				事務局長	岡部 進	○	事務局	富田明日香	○

敬称略順不同, ○:出席, ×:欠席, ●:スカイプ出席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 27-理 2-1	第 1 回理事会(書面会議)(6/17 締切) 議事録
資料 27-理 2-2	臨時理事会(6/30) 議事録
資料 27-理 2-3	第 2 回常任理事会(9/4) 議事録
資料 27-理 2-4	会員の入退会
資料 27-理 2-5	連合会役員名簿(H27-H28) 追加修正版
資料 27-理 2-6	平成 27 年度更正予算
資料 27-理 2-7	編集委員会報告
資料 27-理 2-8	国際技術委員会報告
資料 27-理 2-9	電子ジャーナル委員会報告
資料 27-理 2-10	Rock Net 委員会報告
資料 27-理 2-11	賞選考委員会事項
資料 27-理 2-12	諸規則リスト
資料 27-理 2-13	役員等の報酬の規則(案)(20150629)
資料 27-理 2-14	情報公開に関する規則(案)(20150629)
資料 27-理 2-15	一般社団法人岩の力学連合会個人情報の保護に関する規則(20150818)
資料 27-理 2-16	第 14 回岩の力学国内シンポジウム実行委員会幹事会構成
資料 27-理 2-17	第 14 回岩の力学国内シンポジウム予算案 2017/1 神戸開催
資料 27-理 2-18	日韓ジョイントシンポジウム 1st circular 2016/5/19-20 KIGAM, Korea
資料 27-理 2-19	Minutes of the 2015 ISRM Council meeting Agenda
資料 27-理 2-20	JSRM Board member 20150819
資料 27-理 2-21	GEOSAFE2016 開催案内 2016/5/25-27 西安(中国)
資料 27-理 2-22	EUROCK2016 開催案内 2016/8/29-31 カップドキア(トルコ)
資料 27-理 2-23	EUROCK2017 1stアナウンスメント 2017/6/13-15 (チェコ)
資料 27-理 2-24	24th World Mining Congress (Rio de Janeiro) 開催案内 2016/10/18-21
資料 27-理 2-25	土木学会第 44 回岩盤力学に関するシンポジウム共催依頼 2016/1 開催

(注) 配布資料には通し番号が付されている。議事録ではそのページ番号を参照する場合がある。

理事長挨拶

議事に先立ち、自己紹介を行った。

【議 題】

1. 第 1 回理事会(6/17 書面会議)議事録の承認 (長田)
資料 27-理 2-1 に基づき、議事録の確認を行い承認した。
2. 臨時理事会(6/26)議事録の確認 (長田)
資料 27-理 2-2 に基づき、議事録の確認を行い承認した。

3. 第2回常任理事会(9/4)議事録の確認(長田)

資料27-理2-3に基づき、議事録の確認を行い承認した。

4. 会員の入退会(長田)

資料27-理2-4を用いて、入退会状況が説明された。配布資料p.11の下の表において退会の数字を0→1へ修正、また配布資料p.12の2列目の項目「除名」→「資格喪失」(名称については常任理事会議事録参照)に修正のうえ、これを承認した。なお、資格喪失の欄に記載にある方については、近い方に再度連絡をとって頂くこととした。また入会者3名のうち2名は、若手の会の参加者であった。

5. 各理事の役割分担の一部追加(長田)

前回常任理事会での指摘に対して、資料27-理2-5の通り総務委員会(会計担当)に下茂理事及び横尾理事に加わっていただくことが承認された。

6. 委員会審議・報告事項

1) 編集委員会(清木)

資料27-理2-7を用いて説明があった。前回常任理事会からの検討依頼事項については、次のようにすることとした。

① HP上の文献一覧について(配布資料p.25参照)

継続審議とした。次回理事会までに各理事がデータベースにアクセスし、使い勝手や利点等を調査することとした。一方で、毎年文献リストを会員に直接メール配信するなど新しいサービスについて編集委員会で検討することとした。

② 岩の力学ニュースのWEB公開について(配布資料p.25参照)

継続審議とした。バックナンバーをPDF化するには著作権に関する規定がないので難しい。今後発行する号からは早急に著作権譲渡の手続きを取るようにする。清木理事が担当することとした。

2) 国際技術委員会(鈴木)

資料27-理2-8を用いて、活動状況が説明された。アジア地域からの研究者の招へいに関しては、相手方との日程調整ができなかったため、「第44回岩盤力学に関するシンポジウム」での招へいは見送ることとした。また別途岸田理事より京都大学で実施する招へいにおいて共催での開催の可能性が報告された。また国際関係の基準に関しては、全体の整合性を確保することに注意が必要である旨の意見があった。前回常任理事会議事録6.2)にあるように、若手技術者の国際会議やショートコース参加支援に関して例えば20万円程度の予算で何ができるか、公募のルールや審査方法を検討することを再確認した。

3) 電子ジャーナル委員会(島田:代理長田)

資料27-理2-9を用いて、活動状況が説明された。特に議論なし。

4) Rock Net委員会(安原)

資料27-理2-10を用いて、活動状況並びに審議事項について説明があった。審議事項は次の7つであるが、一部編集委員会の審議事項と重複する事項については、6.1)を参照。

① 各委員会への議事録提出依頼について

過去の議事録については、一先ず幹事長及び事務局が有しているデータを安原理事に提供することとした。なお、編集委員会については議題書を掲載することとした。

② 文献検索システムの廃止について

(上記6.1)①を参照)

③ 岩の力学ニュースのWeb公開について(編集委員会と併せて協議)

(上記6.1)②を参照)

④ Rock Net Japan ホームページのサーバー変更について

提案の通り、レンタルサーバーのプラン変更が承認された。なおURLやメールアドレスはこれまで通りで変更はない。

⑤ AEの委員会報告書のWeb公開について

前国際技術委員会委員長である青木副理事長と協議していただくこととした。

⑥ 文献一覧(岩の力学CDの内容)のWeb公開について(編集委員会と併せて協議)

(上記6.1)①を参照)

⑦ Rock Net Japan の Top ページの写真募集について

賛助会員サービスの一環として、進めることを承認した。なお、募集方法については、岩の力学ニュースに掲載されたものをHPへ転載してよいか問い合わせる、あるいは企画として学生による取材などを通して技術紹介するなど、できるだけ賛助会員の負担が増えないような検討をしていただくこととした。またflashを採用するなど、1つの写真に拘らない掲載方法も検討していただくこととした。

- 5) 連合会賞選考委員会 (7. 「博士論文賞」の新設について 参照)
- 6) 総務委員会 (8.規則の審議 参照)

7. 「博士論文賞」の新設について (青木)

資料 27-理 2-11 を用いて、「博士論文賞」の新設の経緯ならびにそれに伴う応募要領、規則類の変更について説明があった。全体に関する意見として、「博士論文賞」を新設する目的は Rocha メダルへの応募促進を前面に出すのではなく、国際的に通用する若手研究者の育成を謳う書きぶりに修正いただき、メール審議とすることとした。それぞれの審議事項に関する修正のポイントと意見は次の通りである。

1) 連合会賞応募要領 (案)

- ・ (ポイント) 各賞の対象が「正会員および学生会員」であることを明記した。
- ・ (ポイント) 今年度から、技術賞およびフロンティア賞で筆頭応募者が賛助会員の場合、共同応募の法人等は賛助会員でなくても良いことを明記した。
- ・ (意見) 博士論文賞に関する対象期間は1年とし9月末を提出期限とするよう、記載内容を修正する。これは、留学生など9月末に博士論文を提出する学生が多いことによる。

2) 「博士論文賞」の新設およびこれまでの懸案事項に関する規則類の変更

① 岩の力学連合会規則

- ・ 連合会英文名称の変更を受けて、規則の中の JCRM を JSRM に記載変更することを承認した。
- ・ 第 11 条「会費は」を「各年度の会費は」に修正し、会費の期間を明確化することを承認した。
- ・ 第 15 条「資源素材学会」は「資源・素材学会」に修正する。
- ・ 第 16 条「資源素材学会」は「資源・素材学会」に修正する。
- ・ 第 17 条「理事または監事の推挙を依頼し」を「理事または監事の候補者の推挙を依頼し」に修正する。
- ・ 第 17 条「若干名の常任理事を」を「若干名の常任理事および常務理事を」に修正する。
- ・ 第 26 条に「博士論文賞」を追記する。

② 連合会賞授与規則

- ・ (ポイント) 規則名及び必要な条項のなかに「博士論文賞」を追記する。
- ・ (ポイント) 各賞の対象が「正会員および学生会員」であることを明記した。
- ・ (ポイント) 第 3 条 4 項 を追加した。対象期間については、上記の応募要領に関する意見を反映して修正する。
- ・ (意見) 規則の中で「授与」という用語が「学位の授与」と「賞の授与」の二つの意味で使われているため、分かりにくくなっている。どちらの意味で使われているかを明記するように修正する。
- ・ (意見) 各賞の対象期間が「授与年」という表現で定義されているが、定款や規則に倣い、「事業年度」で定義するべきである。
- ・ (意見) 選考委員会の委員の関係者が賞に応募する場合、委員は選考に係らないようにするべきである。材料学会ではそのようなルールにしている。これは、委員長に関しても例外とすべきではない。

3) 賞選考委員会の開催回数の変更 (3回) と予算手当について

前回常任理事会での決議に対する活動であり、内規・細則を改定する必要があるため、例年よりも委員会を多く開催したい旨の要望があり、これを了承した。なおこれに関して、追加 2 回分 (全体で 3 回) の委員会開催が可能となるように予算処置を行うことが合わせて承認された。

8. 規則の審議 (坂口：代理長田)

現在の規則等の整備状況が資料 27-理 2-12 を用いて報告された。このうち、次の 3 つの規則について、内容を読み上げる形で意見を頂いた。全体としてのコメントは、それぞれの規則で書式が不統一であるため、最終的には統一するようにする。特に、連合会規則の表記方法に従い、「岩の力学連合会 (以後、連合会という)」に統一、また制定や施行などの表記位置を統一する。

各規則についての意見やコメントは次の通りであり、これらを検討修正したものを次回理事会に再度諮ることとした。

1) 役員等の報酬の規則(案)

資料 27-理 2-13

- ・ 「附則」はいらないと考えられる。

2) 情報公開に関する規則(案)

資料 27-理 2-14

- ・ 「第 1 章 総則」は削除
- ・ (目的)、(管理) など、他の規則類に合わせて、すべて () をつける。
- ・ 「本会」→「連合会」へ
- ・ 第 1 条 「この規程は」→「この規則は」に変更する。
- ・ 第 3 条 (2) (*) の意味が不明である。
- ・ 第 3 条 2 項 () 番号が対応していない。番号についてはイロハなど異なるものをつける。
- ・ 第 4 条 「事務局とする」→「岩の力学連合会事務局とする」へ変更する。
- ・ 第 4 条 2.2→2 へ修正する。

3) 個人情報の保護に関する規則(案)

資料 27-理 2-15

- ・「本会」→すべて「連合会」へ変更する。
- ・第2条三号 ファイルム→フィルム
- ・第4条一号 「本会の規定」→「連合会の規則」か確認する。
- ・第10条2項 記載の内容について、「出力したものの写し」の意味がはっきりしない。コンピュータから印刷したものをさらにコピーしたもののよう読み取る。内容を確認する。
- ・第13条 「個人情報の保護に関する法律」は規模の大きい団体のみに適用されるものであり、連合会には適用されないと考えられる。「その定めによるもの」→「その定め準じるもの」への変更を検討する。

9 会費の件 (岡部事務局長)

岡部事務局長より、資源・素材学会と岩の力学連合会の会員管理システムの共通化を現在検討しており、これに伴い、

- ・連合会の全会員の新規会員番号付与
- ・会費請求月の変更(資源・素材学会と同時に一斉発送するため)前年度11月から12月

が必要となることが報告された。

会費請求時期について定款及び規則を確認していただいたところ、定款と規則にはそれぞれ

【定款】第10条2項「会費は前納とし、」

【規則】第14条「会費は毎年年度当初に納入しなければならない。」

との記述があり、現状の運営では定款に抵触していることが指摘された。

賛助会員や組織団体から前納していただくことは困難であるため、次年度社員総会での定款の変更を検討すること、及び事務手続き簡略化また未納者への対応の観点から正会員及び学生会員については前納していただく方策とすることが承認された。

10. 岩の力学国内シンポジウム (岸田)

資料 27-理 2-16 に基づき、実行委員会及び幹事会の構成が報告された。なお、幹事会については大学の会員のみの構成となっているため、バランスを考慮することとした。また資料 27-理 2-17 を用いて、予算案が説明され、連合会から150万円の補助金支出の依頼があり、これを了承した。なお一般管理費のルールはこれまで明確ではなかったが、会費収入などの15%として試行してみることにした。

11. 更正予算の編成 (長田)

岩の力学国内シンポジウムおよび賞選考委員会の旅費支出のため、資料 27-理 2-6 の通り更正予算案が示された。基金の切り崩しについては、国際会議準備基金よりも創造的提案推進事業基金からが適当であるという意見が出された。詳細については検討し直し再提案することとしたが、いずれかの基金から150万円の補助金支出を行うこと及び賞選考委員会の旅費の支出を行うことの方針については承認された。

12. 韓日ジョイントシンポジウムの開催と今後の対応 (長田)

資料 27-理 2-18 の通り、2016年5月19日(木)～20日(金)にKIGAMにて開催されることが報告された。概要提出は2016年1月20日である。多くの投稿をお願いしたい。なお、連合会としての今後の対応については次回議論することとした。

13. ISRM 関連

1)～7)については、記載及び配布資料の通りである。

- 1) Minutes of the 2015 ISRM Council meeting 資料 27-理 2-19
- 2) New Board Members of Japanese Society for Rock Mechanics 資料 27-理 2-20
- 3) ISRM への上納金の支払い完了
- 4) GEOSAFE2016 案内 (中国) 資料 27-理 2-21
- 5) EUROCK2016 案内 (トルコ) 資料 27-理 2-22
- 6) EUROCK2017 1st アナウンスメント (チェコ) 資料 27-理 2-23
- 7) 24th World Mining Congress (Rio de Janeiro) 開催案内 資料 27-理 2-24
- 8) EUROCK2015 報告 2015/10/7-10 (オーストリア)

清水 VP より参加報告を頂いた。Geo コロキウムと合同で開催され、参加者は1200名(平年1000名+EUROCK200名見当)であった。40から50程度のブースもあり、如何に企業との連携を図るかも重要であることが報告された。

14. 将来構想委員会報告 (清水)

10/22 午前に開催された将来構想委員会の議事概要を清水委員長よりご報告いただいた。詳しくは、将来構想委員会の議事録を参照されたい。

15. その他

- 1) 土木学会より第 21 回地下空間シンポジウムへの後援依頼（了済済）
- 2) 株式会社レアックスからの問い合わせ（回答済）
- 3) 土木学会より第 44 回岩盤力学に関するシンポジウムへの共催依頼
資料 27-理 2-25 に基づき、共催することを事後承認した。

16. 今後の予定

開催日午前中に将来構想委員会を開催するため、今後の常任理事会及び理事会の開催時間をすべて 13:00 に変更した。

- 1) 第 3 回常任理事会（平成 28 年 1 月 28 日 13:00～）
- 2) 第 3 回理事会（平成 28 年 3 月 31 日 13:00～）
- 3) 平成 28 年度第 1 回常任理事会（平成 28 年 5 月 26 日 13:00～）

以上